

漁況情報 No.4

平成 19 年 6 月 15 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

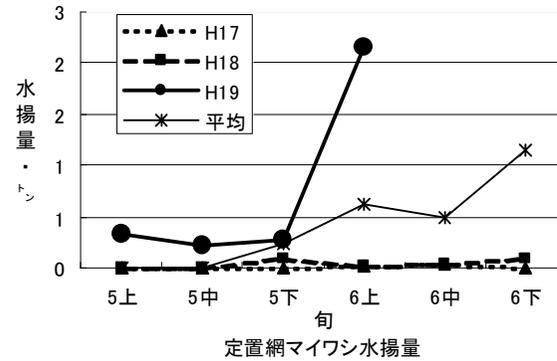
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

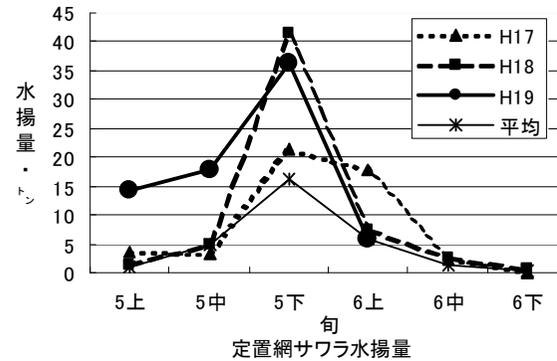
マイワシ、スルメイカ(定置網)、マダラ(底曳網)の水揚げは好調です。
サワラ(定置網)の水揚げは減少しました。

1. 水揚げ状況

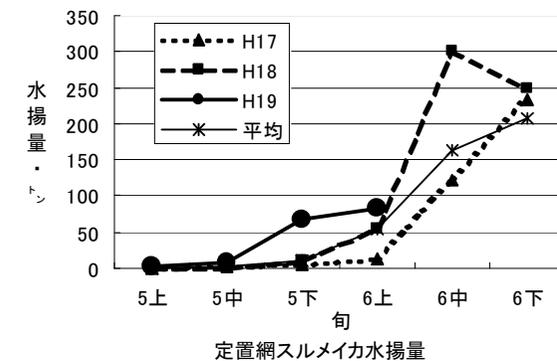
(1) マイワシ(定置網)は山田、大船渡を中心に水揚げがあり、6月上旬の水揚げ量は2.2トン(前年同期の154倍)でした。また、6月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は0.6トンで、旬水揚げはその3.5倍でした。年累計は70.1トン(前年同期の593倍)です。



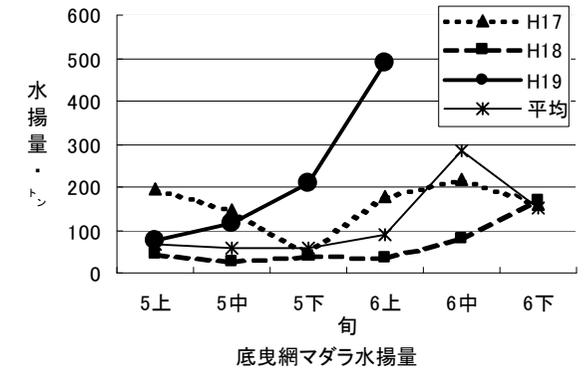
(2) サワラ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、6月上旬の水揚げ量は5.9トン(前年同期の80.2%)でした。また、旬水揚げは過去5年間の同期平均水揚げ量と同程度でした。年累計は76.5トン(前年同期の1.4倍)です。



(3) スルメイカ(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、6月上旬の水揚げ量は82.5トン(前年同期の1.4倍)でした。また、6月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は53.5トンで、旬水揚げはその1.5倍でした。年累計は159.0トン(前年同期の2.2倍)です。



(4) マダラ(底曳網)は宮古を中心に水揚げがあり、6月上旬の水揚げ量は487トン(前年同期の11倍)でした。また、6月上旬の過去5年間の平均水揚げ量は86.7トンで、旬水揚げはその5.6倍でした。年累計は1,376トン(前年同期の2.5倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎サワラ精密測定結果

6月5日に釜石魚市場(定置網)に水揚げされたサワラの精密測定を行いました。メスの割合が非常に高く、尾叉長47~48cmにモードがありました。また、GSI(生殖腺指数)が4~6程度で生殖腺がやや成熟している個体もありました。

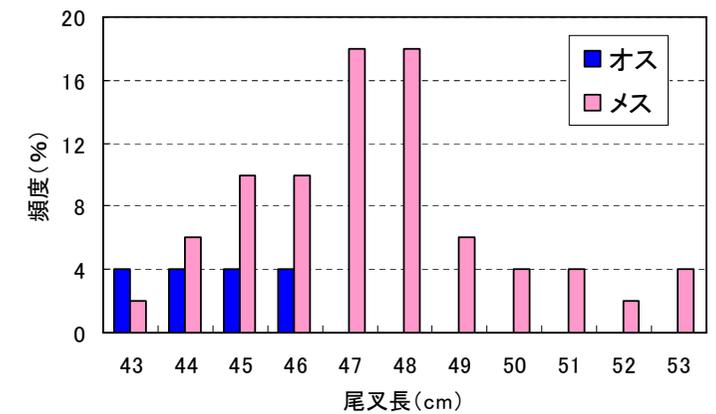


図1 サワラ尾叉長組成(定置網、釜石魚市場)

◎スルメイカ外套長組成

6月上旬の定置網(釜石魚市場)におけるスルメイカは、11~14cmが主体であり、前年より2cm程度、平成17年より1cm程度小型でした。

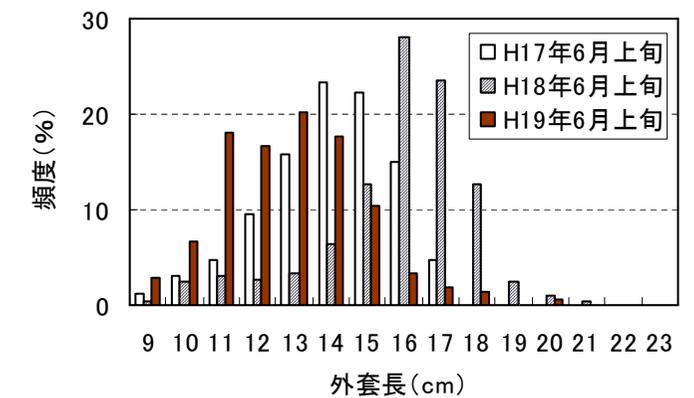


図2 スルメイカ外套長組成(定置網、釜石魚市場)

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。